

## 平成17年第1回化学物質の内分泌かく乱作用に関する 検討会 議事要旨 (案)

- I 日時：平成17年5月17日（火） 10：30～12：30
- II 場所：中央合同庁舎5号館 22階 環境省第1会議室
- III 出席委員：有田芳子、岩本公宏、上路雅子、大島康行、北野大、小出重幸、  
崎田裕子、佐藤洋、鈴木継美（座長）、立川涼、遠山千春  
オブザーバー：川嶋之雄（敬称略）  
事務局：滝澤環境保健部長、上家環境安全課長、佐々木課長補佐 他
- IV 議題：  
(1) ExTEND 2005における取組体制（案）について  
(2) 平成14年度及び平成15年度選定物質を対象とした試験の進捗状況報告  
(3) 国際シンポジウムについて  
(4) その他
- V 議事要旨：  
(1) 委員紹介の後、互選により鈴木委員が座長として選出された。鈴木座長より座長代行として北野委員が指名された。  
(2) ExTEND 2005における取組体制（案）について事務局から説明し、検討が行われた。分野別検討会の座長は、化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会委員より選出することとし、作用・影響評価検討会座長は遠山委員、基盤的研究企画評価検討会座長は佐藤委員、野生生物の生物学的知見検討会座長は大島委員、リスクコミュニケーション推進検討会座長は北野委員とすることが了承された。  
【委員からの主な意見】  
・野生生物関連の事業実施にあたっては、今後十分な検討が必要である。  
・化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会が、報告を受けるのみで受け身にならないよう、運営にあたっての事務局の配慮が必要である。  
(3) 平成14年度及び平成15年度選定対象物質を対象とした試験の進捗状況及び今後の検討日程について事務局から報告し検討が行われた。  
【委員からの主な意見】  
・取組体制についてだけでなく、SPEED'98の改訂およびExTEND2005の策定についての説明が必要であった。  
・試験結果等の表現には十分な配慮が必要である。  
(4) 国際シンポジウムについて事務局から説明し検討が行われた。  
【委員からの主な意見】  
・シンポジウムの一般向けプログラムと専門家向けプログラムについては何らかの連携を図るべきである。  
・受け手側にたってシンポジウム内容を検討すべきである。

以上